

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目次

■2022年度 公認指導者養成資格講習会案内

陸上競技「走・跳・投」の基本技術や発育発達を考慮した指導方法について理解し、各地域において安全な環境のもと、陸上競技の基礎的な実技指導を行うことができる指導者の養成を目的とする講習会のご案内です。

■2021年度登録者数について

2021年度の登録者数について表に示しました。

日本陸連への会員登録は自己記録に関係なく、どなたでも登録することができます。

※一部例外があります。詳細については登録会員規程を参照。

https://www.jaaf.or.jp/pdf/about/guidelines/03_member.pdf?220510

■2021年度陸上競技研究紀要について

2021年度陸上競技研究紀要を発刊しました。

■大会観戦ガイド

ホクレン・ディスタンスチャレンジ2022

全国高等学校定時制通信制体育大会 第57回陸上競技大会

■事務局からのお知らせ

2025年世界陸上競技選手権大会の招致に関する東京都への応援要請について

2025年世界陸上競技選手権大会の招致に関する末松信介文部科学大臣への応援要請について

ホクレン・ディスタンスチャレンジ2022特設サイトオープン！

【ダイヤモンドアスリートスペシャル対談】室伏由佳×新規認定アスリート佐藤圭汰&西徹朗～プログラムへの期待や両選手の将来像に迫る！～

information

- ・日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・シューズ規則／広告規定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2022年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15231/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2023年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15943/>



- ・アンチドーピング／鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・【オレゴン世界選手権】エントリースタンダード

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202108/17_171714.pdf



2022年度 JAAF公認指導者養成資格講習会案内

公認ジュニアコーチ 開催要項

JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会とは

陸上競技「走・跳・投」の基本技術や発育発達を考慮した指導方法について理解し、各地域において安全な環境のもと、陸上競技の基礎的な実技指導を行うことができる指導者の養成を目的とする講習会です。

※本講習会は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づき実施します。
※JAAF公認ジュニアコーチ資格を取得するためには、「スポーツリーダーまたはコーチングアシスタント(どちらも共通科目Ⅰ)」「JAAFジュニアコーチ養成講習会(専門科目Ⅱ)」を受講し合格の上、所定の手続きを行う必要があります。
※指導者登録には別途費用がかかります。詳細は日本スポーツ協会HPにてご確認ください。

カリキュラム

- 自宅学習(事前課題)
- 共通科目2日間(オンライン講習)
- 専門科目2日間(集合講習)

受講料(別途、指定テキストの事前購入が必要です)

- A 共通科目・専門科目受講** → 27,500円(税込) + 決済手数料
※別途共通科目用テキスト代として4,400円(税込)が必要となります。
- B 専門科目のみ受講** → 16,500円(税込) + 決済手数料
- C 免除適用コース承認校在校生** → 16,500円(税込) + 決済手数料
- D JAAF公認指導者資格保有者** → 16,500円(税込) + 決済手数料
- ※A~Dすべてにおいて、別途専門科目用の指定テキストの購入が必要です。詳細はHPにてご確認ください。
※申込区分BおよびCは、共通科目に含まれる必修講義の受講が必要です。詳細はHPにてご確認ください。
※申込区分Dは、JAAF公認ジュニアコーチ以上(JSPOコーチ1以上)の有資格者対象の講習会です。なお、本講習を受講しても資格更新のための研修とはなりませんのでご注意ください。

共通科目が免除される条件

1. すでに日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を保有している。
※スタートコーチやメディカル・コンディショニング資格を除く。
2. 「免除適応コース修了証明書」を保有している。
3. 「免除適応コース承認校」に在籍している。
4. その他関連資格を保有している。
※詳細は日本スポーツ協会のHPをご確認ください。

申込み期間

各会場、開催日初日(共通科目初日)の8週間前~5週間前まで
※共通科目初日については日本陸連公式サイト(下段QRコード参照)でご確認ください。

申込み方法(WEBのみで受け付けています)

日本陸上競技連盟公式サイトにて案内
(イー・モシコムより申込み)
※e-moshicom(イー・モシコム)への会員登録が必要です。
※e-moshicom(イー・モシコム)より申込み後、受講料を納入してください。
※申込み・納入後の返金および会場変更はできません。予めご了承ください。

開催会場一覧

変更や延期、中止等の可能性があります。
開催会場一覧は、日本陸連公式サイトよりご覧ください。



お問い合わせ先

公益財団法人日本陸上競技連盟 JAAF指導者講習会連絡窓口
Tel. 042-319-2263 E-mail. fukyu-info@jaaf.or.jp

公認スタートコーチ 開催要項

JAAF公認スタートコーチ養成講習会とは

地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、学校運動部活動等において、必要最低限度の知識・技能に基づき、陸上競技の上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する指導者の養成を目的とする講習会です。1日の講習会(集合講習)受講で修了となります。

※本講習会は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づき実施します。
※JAAF公認スタートコーチ資格を取得するためには、本講習を受講し合格の上、所定の手続きを行う必要があります。
※指導者登録には別途費用がかかります。詳細は日本スポーツ協会HPにてご確認ください。
※同一年度に他の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の受講はできません(スタートコーチ[スポーツ少年団]養成講習会を除く)。
※他の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を保有している方、共通科目の免除要件を満たす方、または、免除見込みがある方などいずれの場合も、本講習(一部または全て)の免除はありません。

カリキュラム

- 自宅学習(事前課題)
 - 共通科目15時間(うち集合講習3.5時間)
 - 専門科目4時間(集合講習)
- ※講習会(集合講習): 1日

開催会場・日程

変更や延期、中止等の可能性があります。
開催会場・日程は、日本陸連公式サイトよりご覧ください。



受講料・テキスト代

受講料: 13,200円(税込)
テキスト代: 2,200円(税込)
※テキスト代は送料を含みます。
※受講料の入金方法及び手数料等については、開催する都道府県陸上競技協会にお問い合わせください。
※本講習において、講習及び受講料の免除等はございません。

申込み期間

詳細は開催都道府県陸上競技協会にご確認ください。
※公認ジュニアコーチと異なり、申込み先も都道府県陸上競技協会となります。

申込み方法

開催都道府県(各会場)での募集・申込み受付となります。
詳細は開催都道府県にご確認ください。

お問い合わせ先

お問い合わせは、開催地の都道府県陸上競技協会へお願いします。
※JAAF公認スタートコーチ養成講習会は、開催地の都道府県陸上競技協会が計画・運営します。

2021年度登録者数について

表1 2021年度日本陸上競技連盟登録者数

	一般	高校	中学	大学	合計
1 北海道	2,654	3,825	5,286		11,765
2 青森	1,043	1,312	3,377		5,732
3 岩手	1,330	1,458	2,956		5,744
4 宮城	1,676	2,306	3,447		7,429
5 秋田	885	1,195	2,163		4,243
6 山形	1,133	1,431	1,960		4,524
7 福島	972	1,788	2,611		5,371
8 茨城	1,909	2,266	3,618		7,793
9 栃木	921	1,476	2,639		5,036
10 群馬	989	1,553	3,552		6,094
11 埼玉	2,586	5,412	11,639		19,637
12 千葉	3,003	5,327	12,410		20,740
13 東京	9,703	7,525	13,616		30,844
14 神奈川	4,322	5,128	14,797		24,247
15 山梨	991	880	1,188		3,059
16 新潟	1,745	2,254	6,603		10,602
17 富山	993	1,129	1,665		3,787
18 石川	1,054	1,126	1,511		3,691
19 福井	655	773	1,439		2,867
20 長野	1,715	1,496	3,463		6,674
21 静岡	2,713	3,886	7,346		13,945
22 愛知	4,081	6,681	10,141		20,903
23 岐阜	1,085	1,880	3,206		6,171
24 三重	1,037	2,009	3,598		6,644
25 滋賀	917	1,621	3,457		5,995
26 京都	1,804	2,359	4,832		8,995
27 大阪	4,770	5,813	13,878		24,461
28 兵庫	2,831	5,236	10,665		18,732
29 奈良	601	1,162	2,131		3,894
30 和歌山	621	738	1,778		3,137
31 鳥取	408	592	909		1,909
32 島根	888	686	1,646		3,220
33 岡山	1,613	1,530	2,927		6,070
34 広島	1,752	2,504	5,309		9,565
35 山口	1,323	1,502	2,100		4,925
36 徳島	646	555	1,361		2,562
37 香川	761	879	1,528		3,168
38 愛媛	1,256	1,212	1,792		4,260
39 高知	697	542	1,298		2,537
40 福岡	3,000	3,916	8,705		15,621
41 佐賀	776	940	1,628		3,344
42 長崎	917	1,786	2,401		5,104
43 熊本	1,324	1,461	2,807		5,592
44 大分	1,239	951	1,755		3,945
45 宮崎	1,226	937	1,803		3,966
46 鹿児島	1,783	1,268	2,090		5,141
47 沖縄	743	672	160		1,575
学連				18,565	18,565
在外	3				3
	81,094	102,978	201,191	18,565	403,828

2021年度の登録者数について表1に示した。登録者数は2018年度にピークを迎え、2019年度はやや減となっていたが、新型コロナウイルスの影響で、大会が実施できなくなった2020年度は大きく減少した（総数が2019年度比で-10%）。2021年度は大会が再開し始めたこともあり、2019年度比で-5%まで復活してきた。しかしながら内訳（表2）を見ると2019年度比で、一般は2020年度より下がり-14.1%、学連は-8.5%、高校は-7.8%、であったが中学は+1.1%となっていて、これまでに最も多かった2018年度数に匹敵する数であった。一般の減少が大きいのは、トラック&フィールドは比較的大会が開催され始めたが、市民マラソン大会がなかなか再開されない状況が原因だと思われる。

表3に中学校、高校の学年別2019年～2021年の登録者数と2019年度数との対比を示した。2020年度は2019年度に比べて特に3年生が大きく減少したことがわかる。

中学生はどの学年でも、コロナ前の水準に戻ったが、高校生は特に1年生の減少率が大きいままとなっている。また2年生もコロナ前の水準には大きく戻っておらず、20年度に中学3年生、高校1年生だった学年が、競技を中断したまま再開しない生徒が多いと考えられる。将来的にこの世代の減少が競技成績などにどのような影響を与えるかについては、注視していきたい。

表2 人数推移2019-2021

年度	一般	学連	高校	中学	合計
2018	93,604	20,742	114,391	201,397	430,134
2019	94,364	20,296	111,691	198,929	425,280
2020	82,714	18,174	95,901	183,891	380,680
2021	81,094	18,565	102,978	201,191	403,828
	85.9%	91.5%	92.2%	101.1%	95.0%

*割合は2019年度対比

表3 2019-2021学年別推移

年度	中学			高校		
	1	2	3	1	2	3
2019	67,159	68,114	63,656	40,282	37,830	33,174
2020	65,331	64,866	53,694	35,996	35,805	23,583
2021	67,493	69,219	64,479	35,092	34,301	32,343
2020	97.3%	95.2%	84.4%	89.4%	94.6%	71.1%
2021	100.5%	101.6%	101.3%	87.1%	90.7%	97.5%

*割合は2019年度対比

2021年度陸上競技研究紀要を
発刊しました



▼詳細はこちら
<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16045/>

ISSN1349-7596

公益財団法人日本陸上競技連盟

陸上競技研究紀要

Vol.17, 2021

Bulletin of Studies in Athletics of JAAF

HASHIOKA

TOKYO 2020

JAPAN

JAPAN

MIURA

TOKYO 2020

JAPAN

TOKYO 2020

20

contents

特集企画

陸上競技における実践研究の活性化

原著論文

研究資料

報告

日本陸連科学委員会研究報告

日本陸連医事委員会
エキサイティングメディカルレポート



写真提供:フォート・キシモト

JAAF

Japan Association of
Athletics Federations

大会観戦ガイド

ホクレン・ディスタンスチャレンジ2022

▼期日・会場：

20周年記念大会 ～オレゴン2022世界選手権

チャレンジレース～ 深川市陸上競技場 6/22 (水)

第1戦 士別大会 士別市陸上競技場 7/2 (土)

第2戦 深川大会 深川市陸上競技場 7/6 (水)

第3戦 北見大会 北見市東陵公園陸上競技場 7/9 (土)

第4戦 網走大会 網走市営陸上競技場 7/13 (水)

第5戦 千歳大会 千歳市青葉陸上競技場 7/16 (土)

▼種目：

20周年記念大会

【男子】800m、1500m 5000m、10000m、3000mSC

【女子】800m、1500m 5000m、10000m、3000mSC

第1戦 士別大会

【男子】1500m、3000m、5000m

【女子】1500m、3000m、5000m

第2戦 深川大会

【男子】800m、5000m、10000m

【女子】800m、3000m、5000m、10000m

第3戦 北見大会

【男子】800m、1500m、3000m、5000m、
10000m T11～13 5000m

【女子】800m、1500m、3000m、
5000m T11～13 5000m

第4戦 網走大会

【男子】800m、1500m、5000m、
10000m T11～13 5000m

【女子】3000m、5000m 10000m T11～13 5000m

第5戦 千歳大会

【男子】800m、1500m、5000m、3000mSC

【女子】600m、1500m、3000m、5000m、3000mSC

▼問合せ先：

日本陸連事務局 肥田 里枝、工藤 裕美、廣瀬 静香

E-mail: hokurendc@jaaf.or.jp

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1712/>

全国高等学校定時制通信制体育大会 第57回陸上競技大会

▼期日：令和4年8月1日(月)～8月3日(水)

▼会場：駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場

〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園1-1

▼競技種目：

(1) 男子の部 (15種目)

100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・

400mH・3000mSC・4×100mR・4×400mR

走高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投

(2) 女子の部 (11種目)

100m・200m・400m・800m・3000m・

100mH・4×100mR

走高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投

▼問合せ先：全国高等学校定通制陸上競技大会事務局

〒125-0051 東京都葛飾区新宿3丁目14番1号

東京都立葛飾商業高等学校内 事務局長 益本光章

事務局携帯電話 070-6458-2364

※問い合わせは、必ず各都道府県の責任者が行ってください。



写真：フォート・キシモト

事務局からのお知らせ

◆◆2025年世界陸上競技選手権大会の招致に関する東京都への応援要請について◆◆

◆◆2025年世界陸上競技選手権大会の招致に関する末松信介文部科学大臣への応援要請について◆◆

本連盟は、2025年世界陸上競技選手権大会の日本開催を目指し、昨年10月にワールドアスレティックス（WA、世界陸連）へ招致ファイルを提出しました。同大会の開催地は、2022年7月13～14日に米国・オレゴンで開催されるWAカOUNシル会議において決定します。

▼小池知事へお渡しした応援要請文はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16209/>

▼末松信介文部科学大臣へお渡しした応援要請文はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16228/?category=99>

◆◆ホクレン・ディスタンスチャレンジ2022特設サイトオープン!◆◆

「ホクレン・ディスタンスチャレンジ2022」特設サイトがオープン!

ホクレン・ディスタンスチャレンジは、2003年より国際競技会で活躍できる中長距離選手の育成強化と夏期合宿でお世話になっている開催都市の観光促進、地域振興に繋がれることを目的に開催して参りました。

20周年の節目の年を迎える本年は2022年6月22日（水）に行われる「20周年記念大会～オレゴン2022世界選手権チャレンジレース～」を皮切りに、全6大会を北海道で開催します。

大会をより楽しんでいただくため、特設サイトでは、過去大会の情報や大会の歴史、ライブ配信情報など、今後様々なコンテンツを掲載していきます。

▼ホクレン・ディスタンスチャレンジ特設サイト

<https://www.jaaf.or.jp/distance/>



◆◆【ダイヤモンドアスリートスペシャル対談】室伏由佳×新規認定アスリート佐藤圭汰&西徹朗

～プログラムへの期待や両選手の将来像に迫る!～◆◆

日本陸連が、2014-2015年に創設した「ダイヤモンドアスリート」制度。当初は、「2020年東京オリンピックと、その後の国際大会での活躍が大いに期待できる次世代の競技者を強化育成する」ことを目的に掲げていましたが、その「2020年東京オリンピック」が終わって迎えた第8期（2022-2023年）も継続されます。

▼第8期新規認定アスリートはこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15963/>

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/16072/?category=99>

陸連時報編集委員

◇編集委員

- 尾縣 貢（陸連会長）
- 黄倉 寿雄（陸連副会長）
- 瀬古 利彦（陸連副会長）
- 有森 裕子（陸連副会長）
- 風間 明（陸連専務理事）
- 山崎 一彦（陸連強化委員長）
- 鈴木 英穂（陸連事務局長）
- 牧野 豊（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

- 石井 朗生
- ◇時報編集担当
- 日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL : 050-1746-8410
FAX : 050-3588-1869